
令和2年度

事業報告書



社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会

令和2年度 横浜市中区社会福祉協議会 事業報告目次

	ページ
1. みんなで支えあう地域づくりのために	
(1) 福祉の啓発・広報活動	3
(2) 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業	4
2. 住民の主体的活動への支援のための事業	
(1) 地区社協活動への支援	4
(2) 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進	6
(3) 生活支援体制整備事業	6
(4) 地域ケアプラザとの連携・支援	8
(5) 地域福祉保健活動への支援事業	9
3. 福祉教育やボランティア活動の活性化	
(1) 福祉教育の推進	10
(2) 中区福祉保健活動拠点及び中区ボランティアセンターの運営	10
(3) 災害ボランティアセンター設置に向けた取組	13
(4) 善意銀行・ボランティアセンター運営委員会の運営	13
(5) 外出・社会参加の支援	14
4. 福祉の情報提供と相談	
(1) 情報提供	14
(2) 相談	15
(3) 生活福祉資金貸付事業	15
(4) 小災害見舞金・交通遺児援護事業	16
5. 当事者の組織化、社会参加促進のための事業	
(1) 高齢者福祉	17
(2) 障害者福祉	17
(3) 子育て支援事業	18
(4) 権利擁護事業	18
(5) 移動情報センター事業	19
6. 法人運営	
(1) 区社協の体制強化	21
(2) 6団体事務の運営	24
7. その他	
(1) 善意銀行	25
(2) 賛助会員名簿	27
(3) 助成金配分結果	27
(4) 社会福祉功労者顕彰受賞者一覧	30

事業のうち、中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」の取組項目に沿うものは、事業名横に「柱番号」と「分野」を明記しています。例：Ⅰ②→「えん・情報」に沿った事業
Ⅱ③→「元気・人材」に沿った事業

柱番号Ⅰ：中なかいいネ！で えん結び！ ①交流 ②情報 ③人材
柱番号Ⅱ：中なかいいネ！で 元気いっぱい！ ①交流 ②情報 ③人材

1. みんなで支えあう地域づくりのために

(1) 福祉の啓発・広報活動

①【第36回中区社会福祉大会（社会福祉功労者表彰式）】 I①・I②

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※社会福祉功労者顕彰受賞者には、個別に感謝状を授与しました。

- ◆ 社会福祉功労者顕彰

地区社協役員功労表彰	2名
ボランティア活動功労	13名
善意銀行感謝	1名・4団体

②【区民への情報提供】 I②・II②

(ア) 社協瓦版『ふくしなか』の発行

区民への福祉啓発、情報提供を目的として広報紙「ふくしなか」を発行しました。

号数・発行月	内 容	発行部数
第91号 (9月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金 周知 ・中区社協新会長就任挨拶 ・日赤会費お礼、賛助会員 周知 ・令和2年度事業計画・令和元年度決算報告 	42,600部 タウンニュースに掲載
第92号 (3月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉功労者顕彰受賞者紹介 ・善意銀行 周知 ・各種助成金 周知 	42,750部 タウンニュースに掲載

(イ) ホームページの運用

区社協ホームページ並びにSNSを活用し、区民に対して、各種事業、講座、福祉情報等の提供を行いました。

- ・更新回数 延べ64回
- ・内 容 区社協の事業を紹介するとともに更新を随時行い、各種イベント・ボランティア等の情報並びに地域の情報を掲載しました。
- ・アクセス 23,905件/年
- ・SNS（ツイッター） 1回更新 フォロワー数 485（3月末現在）



(ウ) 中なかいいネ！通信の発行

中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」の区民への啓発や情報提供を目的に、中区役所とともに通信を発行しました。

・発行回数 1 回（令和 2 年 7 月） ・発行部数 約 20,000 部

(エ) その他

広報よこはまなか区版、タウン誌などを活用した情報発信を行いました。（随時）

（２）中なかいいネ！ 中区地域福祉保健計画推進事業

①【中なかいいネ！ 中区地域福祉保健計画推進事業】 I・II

中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を区民と協働で推進しました。令和 2 年度は、令和 3 年度から始まる第 4 期計画策定を進めました。

②【東日本大震災復興支援事業

さんりく『がんばっぺし』心プロジェクト】 I①・I③

※例年実施していた東日本大震災復興支援街頭募金活動を始めとした各活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

2. 住民の主体的活動への支援のための事業

（１）地区社協活動への支援

①【地区社協活動助成金の交付】 I①・I②・I③

各地区社協の運営と活動の推進を目的として助成金を交付しました。

(ア) 地区社協活動運営費：市社協からの助成金

50,000 円×13 地区社協

(イ) 地区社協活動助成金：活動状況に応じて申請により交付しました。

220,000 円×11 地区社協、170,000 円×1 地区社協、150,000 円×1 地区社協

(ウ) 世帯会費還元金：世帯会費の納入額の 30%を還元しました。

合計 508,000 円

②【地区社協研修会の実施】 I③・II③

(ア) 地区社協研修会

◆ 区社協主催 地区社協研修会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◆ 横浜市社協・市内 18 区社協共催 よこはま地域福祉フォーラム

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③【地区別計画推進のために】 I・II

誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまちづくりを目指して、第 3 期中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」における 13 地区別計画を地域の皆さんと

ともに推進しました。また、第3期計画の進捗状況の振り返りをするとともに、令和3年度からの第4期計画策定を進めました。

※第3期計画の推進期間：平成28年度～令和2年度

※第4期計画の推進期間：令和3年度～令和7年度

④【地域見守り活動の支援】 I ①

より多くのひとり暮らし高齢者等を地域で見守るとともに、見守り訪問のきっかけとなる“みまもり安心グッズ「おふくろさん」(防災用品等詰合せ)”を地区社協、民生委員・児童委員、町内会、区役所との協働で配付しました。地域で支援の必要な人の把握と見守りの仕組みづくりを進めました。

(ア) 基本グッズの配付

今年度新たに見守り訪問が必要とされる世帯を訪問するためのきっかけとして民生委員・児童委員等に配付しました。

(イ) 追加グッズの購入助成

継続して訪問が必要とされる世帯に対し、訪問のきっかけとして追加配付するグッズを購入するための助成を行いました。

購入助成は地区社協を通じて行い、見守り活動を進めている地区社協、民生委員・児童委員、町内会等との連携により実施しました。

※追加グッズ助成

1世帯あたり200円を単価上限とし、配付する追加グッズは地区の状況に合わせて、ポータブルバックやマスクなどを購入して配付しています。

【おふくろさん 配付実績】

地区名	「基本グッズ」 新規配付数	「追加グッズ」 購入助成
第一北部	100	100
第一中部	40	0
関内	22	0
埋地	0	0
石川打越	0	80
第二	45	580
第三	130	250
第四南部	51	400
第四北部	65	250
本牧・根岸	61	640
第六	80	161
新本牧	0	200
計	594	2,661

「おふくろさん誕生秘話」(おふくろさんの成り立ちを説明した資料)も必要に応じて活用しています。



【基本グッズの配付経過】

平成21～令和元年度	8,634世帯
令和2年度	594世帯
累計	9,228世帯

「おふくろさん」は、民生委員さんが行う“見守り訪問”等を円滑にするためのアイテムとしてご活用いただいています。



(2) 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進

①【身近な地域のつながり・支えあい活動の推進】 I①・I③

住民同士によるつながりや見守り、支えあいがより強くなる仕組みづくりを推進していくために、各地区担当者が地区社協や地域ケアプラザと協働し、次の取組を進めました。

- ・地域ケア会議等に参加し、住民による要援護者とニーズ把握の仕組みづくりを進めました。

②【中区子ども食堂ネットワーク】 I①・I②・I③

関係機関との連携により、子ども食堂を運営する団体をつなぐネットワークを活かした情報交換や課題の共有を進めました。また、子ども食堂の周知を目的としたリーフレット「中区子ども食堂 map」を発行しました。

<子ども食堂ネットワーク>

- ・実施日：令和2年8月4日（火）14:00～16:00
- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・内 容：活動団体報告、周知リーフレットの作成について 等

<子ども食堂情報交換会>

- ・実施日：令和2年6月22日（月）13:30～15:30
- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・内 容：コロナ禍における子ども食堂の取組事例等の共有 等

(3) 生活支援体制整備事業

①【協議体の開催】 I①・I③

関係機関をはじめ住民主体の活動団体やNPO法人、企業など多様な主体が、情報共有や地域課題の検討を行い、必要に応じて社会資源の創出等に取り組むための協議体を開催しました。

- ・実施日：令和2年12月10日（木）14:00～16:00
- ・場 所：横浜市開港記念会館 6号室
- ・内 容：
 - ・「移動」を担う事業の現状について（情報共有）
 - ・移動支援の取組報告（本牧原地域ケアプラザ、麦田地域ケアプラザと中区社会福祉協議会の取組）
 - ・「気軽に出かけられるまちづくり～続・高齢者の「足」問題を考える～」意見交換会

また、高齢者の生活課題の1つでもある「移動」について、タクシー会社と区域を越えて、1つの区では成しえない新たな移動手段の仕組みを検討するための合同協議体を昨年度に引き続き開催しました。（磯子区、栄区、中区の3区合同で実施しました）

<第1回>

- ・実施日：令和2年8月24日（月）13:30～15:30

- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・テーマ：「移動手段から高齢者の生活を支えるために」
- ・内 容：コロナ禍における取組状況について、タクシー会社と情報共有。
また、3区より「配車アプリケーションの活用推進」「予約制の活用」「ドライバー等による見守り」について意見交換。

<第2回>

- ・実施日：令和2年11月6日（金）14:00～16:00
- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・テーマ：「移動手段から高齢者の生活を支えるために」
- ・内 容：第1回で意見交換した内容を踏まえ、3区から事業実施に向けて内容等提案。
※中区は「タクシーでちょっとお出掛け！企画」（後段記載）について取り組みました。

<第3回>

- ・実施日：令和3年3月5日（金）13:30～15:00
- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・テーマ：「移動手段から高齢者の生活を支えるために」
- ・内 容：第2回で提案した内容について、3区から取組報告。また、タクシー会社から国の動向を踏まえたタクシーの取組事例についての情報提供。

②【第2層生活支援コーディネーターとの連携】 I①・I③

日常生活圏域を活動エリアとする地域ケアプラザの第2層生活支援コーディネーターと連携しながら、一体的に地域支援に取り組み、情報提供や研修の実施、個別訪問など必要に応じて第2層生活支援コーディネーターを支援しました。

<区生活支援体制整備研修の実施>

昨年度に引き続き、第2層生活支援コーディネーターによる取組を通じて、生活支援体制整備事業における地域活動を創出・支援するプロセスや重要性を学ぶことを目的として研修を実施しました。

- ・アドバイザー：牧岡 英夫 氏（共育ひろば主宰）
- ・研 修 形 式：各地域ケアプラザ等個別訪問＋講義

③【課題解決への取組】 I①・II①

家で閉じこもりがちな高齢者が安全に安心して外出できるよう、移動手段を活用し社会参加の機会を増やします。また、コロナ禍で近隣との交流も減っているため、新たな繋がりづくりを進める「タクシーでちょっとお出掛け！企画～ドア to ドアで快適に！～」を実施しました。

- ・実施日：令和2年12月4日（金）、12月11日（金）9:00～13:00
- ・内 容：幸浦（横浜市金沢区）の工場直売ショップで買い物&南部市場

(横浜市金沢区) で買い物と海鮮丼を食す旅

※令和元年度にお買い物ツアーを実施した、本牧原地域ケアプラザ、
麦田地域ケアプラザとともに、アサヒタクシー株式会社と協力・
企画立案・実施しました。

④【生活支援コーディネーター連絡会の開催】 I①・I③

区域・日常生活圏域の情報や課題を共有し、地域の状況に合わせ生活支援・介護
予防等に関する地域活動を推進するため、生活支援コーディネーター、区役所、
区社協による連絡会を開催しました。

・実施回数：10回（原則第3木曜日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて実施（1回）

(4) 地域ケアプラザとの連携・支援

①【中区地域活動・交流コーディネーター連絡会の開催】 I①・I②・I③

地域福祉保健活動の活性化やボランティアの育成及びコーディネートの推進、並び
にそれらを担う職員のスキルアップを目的に、各地域ケアプラザ、区役所等関係職員
による情報交換・調整を行う連絡会を区社協が事務局となり開催しました。

・出席団体 各地域ケアプラザ、中区役所（事業企画担当、地域振興課）

・開催回数 6回（原則隔月第3水曜日）

②【研修会等の実施】 I③

地域活動・交流コーディネーターが業務をより効果的に進めていくためのスキル
取得・知識向上を目的として研修会を開催しました。

令和2年度は、中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」の策定期間であるため、
主に地区別計画策定に向けての研修と位置付けて実施しました。

<第1回>

・実施日：令和2年9月30日（水）14:00～17:00

・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく

・テーマ：「地域福祉保健計画とコーディネーター」

・内 容：コーディネーターの役割、地域福祉保健計画との関係性について

<第2回>

・実施日：令和2年10月21日（水）9:30～12:30

・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく

・テーマ：「地区別計画策定にあたり、コーディネーターの役割を確認する」

・内 容：3期計画までの地区別計画のモニタリング

これからのあるべき姿は？…アセスメントから見えること

講師（両回とも）：佐塚 玲子氏

（特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センターセンター長）

③【地区社協をテーマとした研修会】 I ③

地域支援の専門職（地域活動・交流コーディネーター、生活支援コーディネーター）がより効果的な支援を行えるよう、地区社協への理解を深め、地区社協と繋がることでより支援の幅が広がり、お互いの強みを活かしたパートナー関係から発展する「協働」のメリットを考えるための研修会を開催しました。

- ・実施日：令和2年12月22日（火）9:30～12:00
- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・パネラー：井上 圓三 氏（関内地区社会福祉協議会会長）
丹羽 博利 氏（本牧・根岸地区社会福祉協議会会長）
- ・コーディネーター：牧岡 英夫 氏（共育ひろば主宰）
- ・内 容：井上氏、丹羽氏より
 - ・地区社協活動について
 - ・地域ケアプラザとの連携等に考えること牧岡氏より
 - ・地域ケアプラザの専門職にとって、地区社協（活動）に関わる、支援する意味、必要性を考える

④【リーフレットの発行】 I ①・I ②

コロナ禍で地域活動が停滞したことを受け、繋がり維持する工夫点を盛り込んだリーフレット「with コロナ×新しい地域福祉活動のカタチ～つながりを途切れさせない活動・ちょっとした工夫～」を、地域活動・交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと検討し発行しました。

⑤【各関連会議への参加】 I ①・I ②

（ア）地域支援チーム会議

区役所や地域ケアプラザとともに地域支援チーム会議を開催し、地域福祉保健情報の共有化や中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」（地区別計画）の推進・第4期計画策定を支援しました。

（イ）中区施設長会議

中区福祉保健課主催の施設長会議に参加しました。

（ウ）社会福祉職会議

社会福祉職会議、および成年後見サポートネットに参加しました。

（5）地域福祉保健活動への支援事業

①【なかく ふれあい助成金/中区社協助成金】 I ③・II ③

市民の自発性のもと、横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的に、よこはまふれあい助成金のほか中区の財源である赤い羽根共同募金、年末たすけあい募金、善意銀行配分金を活用して、地域活動団体への助成金配分を実施しました。※配分の詳細は27頁以降に掲載

《なかく ふれあい助成金》

・配分総額 63 団体 5,050,000 円

《中区社協助成金》

・配分総額 12 団体 556,000 円

《助成金説明会の開催》

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

《個別相談会の開催》

助成金説明会の中止に伴い、代替として希望団体を対象に令和2年度完了報告・令和3年度申請に関する個別相談会を開催しました。

期 間：令和3年3月8日（月）～19日（金）

参加団体：5 団体

3. 福祉教育やボランティア活動の活性化

(1) 福祉教育の推進

①【福祉教育の相談調整・支援】 I①・I③・II①・II③

学校等からの依頼を受けて、福祉教育・体験学習に協力しました。

種別	依頼件数	対応件数	日数	コマ数	調整数	延べ参加者数	
学校	小	1	1	1	1	20	27
	中	1	1	1	1	20	0
	高	0	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	
合計	2	2	2	2	40	27	

②【福祉教育体験講座】 I①・I③

※夏休みに区内在住・在学の小学生以上を対象に開催していた福祉教育体験講座（なかふくフェスタ）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

③【福祉教育用福祉用具の整備】 I①・I②

学校における福祉教育・体験学習、その他個人で使用する福祉機材の貸出を行いました。

〈貸出実績〉

車いす 20 件 / アイマスク 0 件 / 白杖 3 件 / 点字板 4 件
視覚障害者生活グッズセット 0 件 / 高齢者疑似体験セット 0 件

④【福祉教育の推進に向けた情報共有会開催】 I①・I②・I③

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 中区福祉保健活動拠点及び中区ボランティアセンターの運営

中区福祉保健活動拠点の指定管理者として、地域における市民の自主的な福祉活動

または保健活動のための施設の提供や、福祉・保健活動の担い手であるボランティアの育成・支援を行いました。

運営にあたっては運営基本方針を策定し、誰もが「安心して」「安全に」利用できるように施設管理に取り組みました。

①【中区福祉保健活動拠点の管理運営】 I①・I②・II①・II②

(ア) 各部屋の貸出

利用登録をした福祉保健活動団体に対し、活動の打ち合わせや地域向けの講演会の実施等、活動場所の提供を行いました。

◆ 登録数

ボランティア団体	19 団体
当事者団体	13 団体
その他	117 団体
合計	149 団体

◆ 利用実績

ボランティア団体	534 件
当事者団体	133 件
その他	414 件
合計	1,081 件

※前年度実績 登録数：153団体、利用実績：2,029件

(イ) メールボックス、ロッカーの貸出

拠点登録団体の事務作業・情報交換などを円滑に推進するため、メールボックス及びロッカーを貸し出しました。

(ウ) 施設・設備の充実

拠点登録団体が使用できるパソコン・コピー機・印刷機やプロジェクター等を備品として揃えるなど、より利用しやすい環境整備を行いました。

(エ) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組

利用者への検温、館内の消毒、換気など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みました。

(オ) 親と子のくつろぎスペース「マリンコーナー」の設置

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉鎖

(カ) 利用調整会議の開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②【中区ボランティアセンターの運営】 I②・I③・II②・II③

(ア) ボランティアに関する相談・紹介業務

ボランティアの募集及び活動希望者の相談受付、関係機関の紹介など、様々なボランティア相談に応じ、登録、調整・マッチング、フォローアップなどコーディネート業務を行いました。

◆ 新規登録者数

区分	団体数・人数
グループ (団体数)	2 団体
グループ (会員数) A	9 人
個人 B	20 人
合計 A+B	29 人

◆ 累計登録者数

区分	団体数・人数
グループ (団体数)	146 団体
グループ (会員数) A	10,214 人
個人 B	1,018 人
合計 A+B	11,232 人

前年度実績 新規登録者 ・グループ7団体(会員 411 人) ・個人 68 人 合計 479 人

◆ コーディネート状況 (但し送迎サービス活動を除く)

	依頼 件数	依頼件数の調整内訳 (年度末現在の対応結果)					ボランテ ィア紹介 人数	調整数
		紹介件数	調整中	調整つかず	取下げ	情報提供		
単発依頼	81	67	0	1	10	3	344	106
定期依頼	117	92	0	22	3	0	142	147
合 計	198	159	0	23	13	3	486	253

依頼件数のうち約 41%が単発的な依頼、59%が施設活動などの継続的な定期依頼でした。

前年度実績 依頼件数:458件 (紹介件数:414件 調整中(ほか):44件) 紹介人数:1,739人 調整数:882件

(イ) ボランティアに関する情報の提供

◆ ボランティア情報紙の発行

ボランティア連絡会との協働で、ボランティア団体の情報を掲載した「Let' s ボラ」「中区ボランティアセンター通信」「今月のボランティア情報」を発行しました。

	名称	発行部数	配布 方法	その他配布先等	発行 回数	主な内容
1	Let' s ボラ	約 11,700 部	郵送	登録ボランティア、学校、福祉施設・関係機関など	6	ボランティア連絡会情報、災害ボランティア連絡会準備会について他
2	ボランティアセンター通信	約 11,700 部	郵送	登録ボランティア、学校、福祉施設・関係機関など	6	ボランティアセンター事業、ボランティア募集
3	「今月のボランティア情報」	約 2,000 部	郵送	登録ボランティア	2	具体的なボランティア募集と依頼内容詳細

◆ ホームページでの情報提供

拠点やボランティア情報をよりわかりやすく区民に提供するため、ホームページに、ボランティア募集情報、各種講座等の開催情報を掲載しました。

◆ 「ありがとうボランティア」カードの送付

登録ボランティアとして活動している方へ、感謝の気持ちをカードにして郵送し、ボランティア活動の継続を図りました。

・送付数 個人 73 件 / 団体 20 件

(ウ) ボランティア活動者の支援

◆ ボランティア連絡会との連携、支援

ボランティア団体との連携強化のため、ボランティア連絡会理事会に参加し、ボランティアセンター事業での連携を図りました。

◆ ボランティア保険の受付

全国社会福祉協議会「ふくしの保険」のボランティア保険受付事務を行い、ボランティア活動者や福祉施設等を支援しました。合計 145 件

(内訳) ボランティア行事用保険 57 件 ボランティア活動保険 86 件
福祉サービス総合補償 2 件

③ 【ボランティアの育成・支援】 I①・I③・II①・II③

例年、ボランティア団体等と協働し、幅広い世代や企業等がボランティア活動に参加できるきっかけの場として開催していた「月1回ちょいボラに挑戦 山下公園通り清掃活動」などについて、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止。

④ 【ボランティア講座の開催】 I①・I③・II①・II③

ボランティア団体と協働して講座を開催しました。

実施日	講座・行事名等	事業目的 (テーマ)	回数	延べ参加人数	共催
令和2年 11月27日～ 12月25日の毎週(金)	点訳ボランティア 入門講座	視覚障害者福祉の啓発と支援 ボランティアの発掘・育成	5	47	もなみ
合 計			5	47	

(3) 災害ボランティアセンター設置に向けた取組

① 【災害ボランティアコーディネーター連絡会の運営】 I②・I③

(ア) 災害ボランティア連絡会準備会

前年度に設立した災害ボランティア連絡会準備会にて、災害ボランティア連絡会立ち上げに向けワーキングを実施しました。

(イ) 区災害ボランティアネットワークの運営

◆ 災害時ボランティア活動への協力登録 (3月末現在)

累計登録協力者数 個人 205 人/団体 11 団体 (会員数 226 人)

(ウ) 市災害ボランティアネットワーク連絡会及びAブロック連絡会への参加

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施

(4) 善意銀行・ボランティアセンター運営委員会の運営

① 【善意銀行の運営】 I①・II①

地域で行われたチャリティーバザーの収益金や事業所単位の募金など、区民の皆さ

まから善意の金品をお預かりし、「ボランティアセンター運営委員会」において配分先を審議し決定しました。(内容 25 頁以降参照)

- ・ 寄附金預託 30 件 計 1,110,634 円
- ・ 物品預託 6 件

②【ボランティアセンター運営委員会の開催】 I①

事業計画や実施内容の検討、経過報告等を議題とし、中区ボランティアセンターの適正な運営について協議しました。

- ・ 開催回数 年 3 回 (内容 24 頁参照)

(5) 外出・社会参加の支援

①【中区送迎サービス・横浜市外出支援サービス】 I①・I③

送迎ボランティアグループ「葦の会」(令和 2 年 9 月末解散)との協働等による、高齢者・障害児者等で公共交通機関での移動が困難な方への通院や行政機関での手続き、余暇活動への参加等のための自動車による送迎サービスについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 4 月 6 日より実施を見合わせました。

◆ 対応状況 1 件 (うち外出支援サービス分 1 件)

(内訳)	通院・入院等の医療機関	1 件 (1 件)
	福祉サービス利用	0 件 (0 件)
	行政手続き	0 件 (0 件)
	その他	0 件 (0 件)

前年度実績 341 件 (うち外出支援サービス分 141 件)

②【運転ボランティア研修】 I①・I③

安全で安心できる送迎事業を実施するため、運転ボランティアに対し、事故発生時の対応手順や安全運転への心構えについて研修を実施しました。

<安全運転研修>

- ・ 実施日 令和 3 年 3 月 16 日(火)
- ・ 場 所 港南区福祉保健活動拠点
- ・ 参加者 1 人

4. 福祉の情報提供と相談

(1) 情報提供

①【区民への情報提供】(再掲)

(ア) 社協瓦版『ふくしなか』の発行

区民への福祉啓発、情報提供を目的に広報誌「ふくしなか」を発行しました。

(イ) ホームページの運用

区社協ホームページ並びにSNSを活用し、各種事業、講座、福祉情報等の提供を行いました。

- ・更新回数 延べ64回
- ・内 容 区社協の事業を紹介するとともに更新を随時行い、各種イベント・ボランティア等の情報並びに地域の情報を掲載しました。
- ・アクセス 23,905件／年
- ・SNS（ツイッター）1回更新 フォロワー数 485（3月末現在）

(ウ) 中なかいいネ！通信の発行

中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」の区民への啓発や情報提供を目的に、中区役所とともに通信を発行しました。

(エ) その他

広報よこはまなか区版、タウン誌などを活用した情報発信を行いました。（随時）

(2) 相談

①【一般相談】 I①・I③

窓口及び電話での各種相談、ボランティア相談に応じました。

- ・相談件数 3,350件（前年度：4,632件）
（内訳）拠点の施設・設備利用関係 2,644件
ボランティア相談 706件

②【苦情解決】 I①

本会事業やサービスに関する要望や苦情を受け付け、適切な対応が図れる体制を整備しました。

③【窓口満足度調査】 I①・I②

本会の窓口・拠点の利用者に調査を行い、調査結果をもとに本会のサービス改善と向上を図りました。

- ・実施時期 令和2年11月1日（日）～11月30日（月）
- ・回答者数 210人

④【ご意見箱の設置】 I②・II②

本会窓口にご意見箱を設置し、通年で来館者からご意見を伺いました。

また、ホームページ上からもご意見をいただけるよう、専用ページを設けています。

(3) 生活福祉資金貸付事業

①【生活福祉資金等の貸付】 I①・I②

通年を通し、新型コロナウイルスの影響による収入減少のある方向けの特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）の受付を行いました。

また、低所得世帯を対象に、高校や大学等進学のための教育資金（教育支援費）、転宅費用貸付、一時的な生活資金貸付を民生委員の協力を得て実施しました。

資金別相談・貸付件数	相談件数	貸付件数	貸出決定金額
福祉資金（教育支援費・福祉費）	1,154	36	59,857,000
緊急小口資金	1,651	4	400,000
総合支援資金	1,146	0	0
臨時特例つなぎ資金	1	0	0
不動産担保型生活福祉資金	27	0	0
生活福祉資金以外の相談	11	0	0
合 計	3,990	40	60,257,000

※ 特例貸付（新型コロナウイルスの影響で収入が減少した方向け）

資金別相談・貸付件数	相談件数	申請件数 (県社協送付)
特例緊急小口資金	7,345	1,973
特例総合支援資金	5,331	1,444
特例総合支援資金（延長）		719
特例総合支援資金（再貸付）		300
合 計	12,676	4,436

②【生活困窮者自立支援事業】 I①・I②

生活福祉資金特例貸付受付に伴い、中区自立相談支援機関等と連携し相談対応および支援について随時検討しました。

③【食の支援】 I①・I②

フードバンク横浜、横浜市資源循環局等から食料の寄付を受け、中区生活支援課と連携し、所持金がなく食料の手持ちがない人への食支援に取り組みました。

- ・区社協窓口での配布 27件

（４）小災害見舞金・交通遺児援護事業

①【小災害見舞金の支給】 I①

火災により被害を受けた罹災世帯に見舞金を支給しました。

区 分	件数	区見舞金額（円）
全焼(壊)・流出	4	40,000
半焼(壊)	1	5,000
火災死亡者	0	0
火災重傷者	0	0
合 計	5	45,000

5. 当事者の組織化、社会参加促進のための事業

(1) 高齢者福祉

①【高齢者福祉関係】 I ①・I ②

区役所や関係機関が開催する連絡会等に参加しました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止

②【敬老月間各種事業への取組】 I ①

(ア) 第58回中区老人福祉大会（共催：区老人クラブ連合会/中区役所）

老人クラブの健全な発展と高齢者福祉の向上を図るとともに、福祉の実践活動や普及への理解と交流を深めることを目的として開催しました。

- ・実施日 令和2年9月18日（金）
- ・場 所 横浜市開港記念会館
- ・参加者 123人

③【中区高齢者福祉基金助成金制度の運営】

主に区内で進められている高齢者支援の活動や取組を支援していくため、各地区社協と連携し、地域活動団体への助成金配分を実施しました。※配分の詳細は29頁以降に掲載

- ・配分総額 14団体 1,660,000円

(2) 障害者福祉

①【障害者及び中区障害者団体連絡会（区障連）への支援・協力】 I ①・I ②・I ③

(ア) ポレポレグッズの販路拡大支援

販路拡大委員会に参加し、ポレポレグッズの販路拡大、販売会の支援をしました。

(イ) 中区障害者団体連絡会運営の支援

総会・理事会・研修会の運営を支援しました。

	実施日	人数	内容	会場
総会	令和2年5月	—	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面審議にて実施	中区福祉 保健活動 拠点なか ふく
理事会	令和2年6月4日(木)	8	総会議決確認、事業実施検討他	
	7月28日(火)	10	災害支援プロジェクト、要望書他	
	10月27日(火)	11	要望書、区役所依頼事業協力他	
	12月22日(火)	10	会員登録、事業計画検討他	
	令和3年2月16日(火)	10	研修内容検討、役員・事業計画他	
研修会	令和3年1月21日(木)	36	<防災勉強会>「災害時の備え丸わかり！障 害者の自助・共助・公助」 講師：日比谷 幹雄氏（横浜市防災防火協会） 小林 和宏氏（中区役所危機管理・地域 防災担当係長）	中区役所
	3月19日(金)	36	<障害者虐待防止研修> 講師：長見 英知氏 （湘南精神保健福祉士事務所所長）	中区福祉 保健活動 拠点なか ふく

※例年、開催支援していた「ポレポレまつり」「Y.S.C.C.夕涼み納涼会」「障害者週間 Hand in Hand 本牧クリスマスバザール」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

③【中区自立支援協議会・事務局活動への参加】 I①・I②

自立支援協議会への参加を通して、中区における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関との連携を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を進めました。

④【各種委員会・運営委員会への参加と協力】 I①・I②

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 子育て支援事業

①【親と子のくつろぎスペース「マリンコーナー」の設置】（再掲）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉鎖

②【子育て応援プログラムの開催】 I①・I②

例年、中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」や主任児童委員連絡会など区内で活動する団体等と協働し、子育てに役立つ講座や、親子の広場等の交流の場を開催支援していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

③【中区子ども食堂ネットワーク】（再掲）

関係機関との連携により、子ども食堂を運営する団体をつなぐネットワークを活かした情報交換や課題の共有を進めました。また、子ども食堂の周知を目的としたリーフレット「中区子ども食堂 map」を発行しました。

<子ども食堂ネットワーク>

- ・実施日：令和2年8月4日（火）14:00～16:00
- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・内 容：活動団体報告、周知リーフレットの作成について 等

<子ども食堂情報交換会>

- ・実施日：令和2年6月22日（月）13:30～15:30
- ・場 所：中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・内 容：コロナ禍における子ども食堂の取組事例等の共有 等

(4) 権利擁護事業

①【あんしんセンターの運営】 I①・I③

(ア) 金銭管理や書類を管理することに不安のある高齢者や障害者の相談に応じて、財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるようにサービスを提供しました。

◆ 利用実績

- ・初回相談対応件数 39 件
- ・相談訪問対応件数 3,565 件

◆ 契約件数

- ・福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス 45 件（前年度実績 44 件）
- ・預金通帳など財産関係書類等預かりサービス 13 件（前年度実績 12 件）

(イ) 市民後見人の活動支援を目的とした「市民後見サポートネット」を実施しました。

(ブロック：中区、磯子区、金沢区)

- ・実施日 令和2年9月9日（水）
- ・場 所 中区福祉保健活動拠点 なかふく
- ・参加者 市民後見人バンク登録者、地域ケアプラザ職員、区社協職員、区役所職員、基幹相談支援センター職員、横浜生活あんしんセンター職員、横浜市健康福祉局職員、専門職（社会福祉士ほか）32人

(ウ) 中区役所で実施した成年後見サポートネットの強化を目的とした「成年後見サポートネット全体会」に参加しました。

実施日	内容	場所
令和2年 10月6日（火） 14:45～16:45	成年後見制度申立の実際（新様式の書き方）について	中区役所
12月8日（火） 14:45～16:45	法テラス神奈川について 成年後見制度の相談可能な各団体の機能について	

(エ) 区域の権利擁護の相談分析と課題の検討を目的に、令和2年度より始まった「成年後見サポートネット専門職会議」に参加しました。

実施日	内容	場所
令和2年 10月6日（火） 13:30～14:30	令和元年度中区アセスメントシートについて 後見等候補者選任に先立つ候補者への情報提供について（意見交換）	中区役所
12月8日（火） 13:30～14:30	任意後見制度利用時のメリット・デメリットについて（意見交換）	
令和3年2月16日（火） 13:30～14:30	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

（5）移動情報センター事業

①【相談窓口の運営】 I ①・I ②

区内在住の障害児者を主な対象として、通学、通所、その他移動に関する相談に応じ、移動の制度についての情報提供や移動支援に関する事業所とのコーディネートを行いました。

◆ 相談窓口受付状況

- ・相談件数 103 件（前年度実績 189 件）

【障害種別毎の内訳】

身体障害：27 件、知的障害：48 件、重複障害：6 件、精神障害：15 件、その他（高齢者含む）：7 件）

◆ 相談内容等

内容	件数
通院等必要不可欠な外出	25
余暇等社会参加のための外出	4
通学	21
通所	28
制度の説明	13
その他	12

② 【ニーズの収集と整理】 I ①・I ②

移動に関する情報収集のため、事業所への聞き取りと訪問を行いました。収集したニーズについて対応を検討しました。

- ◆ 事業者情報更新件数：9 件

③ 【移動支援に関わる人材育成】 I ②・I ③

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④ 【ガイドボランティア事業事務取扱】 I ③

横浜市ガイドボランティア事業事務取扱団体業務を担いました。なおガイドボランティア入門講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

- ◆ ガイドボランティア登録状況

- ・ガイドボランティア登録者数 29 名（前年度実績 24 名）
- ・支援対象登録者数 25 名（前年度実績 17 名）

⑤ 【中区移動情報センター通信の発行】 I ②

「中区移動情報センター通信」を発行し、地域福祉関係団体に配布しました。

情報誌の名称	発行時期	体裁	発行部数	内容
中区移動情報センター通信	下半期	A4 版 2 頁	3,500 部	移動情報センター活動報告 外出に関する情報、制度紹介、 ガイドボランティア活動紹介 等

⑥ 【推進会議の開催】 I ①・I ②

障害当事者団体、教育機関、事業所等で構成する推進会議を開催し、事業の現況等に関する意見交換を行い、事業の推進を図りました。

実施日	人数	内容	場所
令和2年5月	—	新型コロナ感染拡大防止のため中止 ※推進会議委員には、令和2年度実施状況報告を郵送。	中区福祉保健活動拠点 なかふく
8月28日(金) 13:30~15:00	17	・第1四半期実施状況報告 ・相談内容 ・事例検討	
11月27日(金) 13:30~15:00	13	・第2四半期実施状況報告 ・相談内容 ・事例検討	
令和3年2月5日(金)	—	新型コロナ感染拡大防止のため中止 ※推進会議委員には、第3四半期実施状況報告を郵送。	

6. 法人運営

(1) 区社協の体制強化

①【理事会・評議員会の開催】

(ア) 理事会

実施日/場所/人数	議題	結果
令和2年 6月17日(水)※提案日	①令和元年度事業報告並びに一般会計収入支出決算について ②令和元年度監事監査報告について ③評議員選任候補者の推薦について ④評議員選任・解任委員会の招集について ⑤評議員会の開催について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	①~⑤原案どおり承認(書面同意による決議の省略)
8月3日(月)10:00~10:15 中区福祉保健活動拠点 なかふく 理事:9人 監事:2人	①会長の選定について ②顧問の選任について	①~②原案どおり承認
12月1日(火)10:25~11:20 中区福祉保健活動拠点 なかふく 理事:8人 監事:3人	①会員の承認について ②中区社会福祉大会の開催について ③福祉資金の運用について ④令和2年度一般会計収入支出予算の補正について ⑤評議員会の招集について	①~⑤原案どおり承認
令和3年 3月5日(金)※提案日	①令和3年度事業計画並びに一般会計収入支出予算について ②会員の承認について ③中区福祉保健活動拠点の休館日の新設について ④役員等賠償責任保険契約の内容の決定について ⑤評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について ⑥評議員会の開催について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	①~⑥原案どおり承認(書面同意による決議の省略)

(イ) 評議員会

実施日/場所/人数	議 題	結 果
令和2年 7月17日(金)※提案日	①令和元年度事業報告並びに一般会計収入支出決算について ②令和元年度監事監査報告について ③理事の選任について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	①～③原案どおり承認(書面同意による決議の省略)
12月10日(木)10:00～10:40 中区福祉保健活動拠点 なかふく 評議員:17人	①令和2年度一般会計収入支出予算の補正について ②本会職員就業規程の一部改正について	①～②原案どおり承認
令和3年 3月15日(月)※提案日	①令和3年度事業計画並びに一般会計収入支出予算について ②本会経理規程の一部改正について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	①～②原案どおり承認(書面同意による決議の省略)

②【監査会】

実施日/場所/人数	議 題	結 果
令和2年 6月3日(水)※提案日	令和元年度事業報告及び収支決算について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	確認のうえ承認 (書面にて実施)

③【評議員選任・解任委員会】

実施日/場所/人数	議 題	結 果
令和2年 7月1日(水)※提案日	①評議員の選任について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	評議員を選任(書面同意による決議の省略)

④【各種部会・分科会】

(ア) 民生委員・児童委員分科会

実施日/場所/人数	議 題
令和2年 5月12日(火)14:00～16:00 中区役所 26人	令和2年度「中区社会福祉協議会会費」について
6月16日(火)14:00～16:00 中区役所 26人	生活福祉資金「残額のお知らせ」の配布について
7月16日(水)14:00～16:00 中区役所 26人	みまもり安心グッズ「おふくろさん」の申請について 令和2年度「赤い羽根共同募金」街頭募金活動の協力について
9月16日(水)14:00～16:00 中区役所 26人	令和2年度赤い羽根共同募金運動の実施について 令和2年度生活福祉資金「新任民生委員研修会」の開催について 生活福祉資金「残額のお知らせ」の配布について
12月16日(水)14:00～16:00 中区役所 26人	生活福祉資金「民生委員活動費」の交付について 生活福祉資金「残額のお知らせ」の配布について

(イ) 地区社協分科会

実施日/場所/人数	主な議題
令和2年 5月27日(水)	新型コロナ感染拡大防止のため中止

7月22日(水)13:30～15:10 中区福祉保健活動拠点 なかふく 12人	令和2年度横浜市社協地区社協検討会のメンバー選出 令和2年度地区社協研修会、交流会について 令和2年度みまもり安心グッズ「おふくろさん」追加グッズの申請について 令和2年度「地区社協活動費」並びに「地区社協活動助成金」交付決定について 新型コロナウイルス拡大による地区社協事業の実施状況
9月23日(水)13:30～14:45 中区福祉保健活動拠点 なかふく 12人	令和2年度中区社会福祉協議会事業報告並びに収支決算について みまもりグッズを活用した支援事業（見守り推進事業）について 市社協リーフレットの活用について 地区社協研修会案について 令和2年度赤い羽根共同募金運動の実施について 新型コロナウイルスの影響による地区社協活動費の活用について
11月25日(水)13:25～14:55 中区福祉保健活動拠点 なかふく 13人	令和2年度中区社協顕彰要綱に基づく顕彰候補者の推薦について 地区社協研修会案について 地区社協活動費の活用について コロナ禍における各地区社協事業実施状況共有
令和3年 1月27日(水)	新型コロナ感染拡大防止のため中止
3月8日(月)	新型コロナ感染拡大防止のため中止

(ウ) 自治会町内会分科会

実施日/場所/人数	議 題
令和2年 4月19日(金)	中区社会福祉協議会広報紙「ふくしなか」の配布について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料のみ配布
7月17日(金)10:00～12:00 中区役所 12人	中区社会福祉協議会 理事候補者の推薦について 「共同募金中区だより」の全戸配布依頼について
9月18日(金)10:00～12:00 中区役所 12人	赤い羽根共同募金運動の実施について
令和3年 3月19日(金)	令和3年度日本赤十字社会費募集について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料のみ配布

(エ) 当事者団体部会

実施日/場所/人数	議 題
令和2年 6月4日(火)14:00～16:00 中区福祉保健活動拠点 なかふく 8人	中区障害者団体連絡会総会実施内容について
7月28日(火)14:00～16:00 中区福祉保健活動拠点 なかふく 10人	中区障害者団体連絡会中区役所への要望提出について 中区バリアフリー基本構想策定への協力について
10月27日(火)14:00～16:00 中区福祉保健活動拠点 なかふく 11人	中区バリアフリー基本構想策定への協力について 新型コロナウイルスに関連する生活の変化・工夫等のアンケートについて 防災学習会について
12月22日(火)14:00～15:30 中区福祉保健活動拠点 なかふく 10人	防災学習会について 今後の計画・令和3年度計画について
令和3年 1月26日(火)14:00～16:00 中区福祉保健活動拠点 なかふく 7人	令和3年度・4年度地域ケアプラザ運営委員の推薦について 今後の計画について
2月16日(火)14:00～16:00 中区福祉保健活動拠点 なかふく 10人	インクルーシブスポーツ参加について 令和3年度役員（変更等）及び事業計画・予算について 中区社会福祉協議会次期候補者について

⑤ 【各種委員会】

(ア) ボランティアセンター運営委員会

実施日/場所/人数	議 題
令和2年 6月17日(水) ※提案日	令和元年度 善意銀行寄託金品の結果について(報告) 令和元年度 中区ボランティア関係事業について(報告) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
12月1日(火)10:00~10:20 中区福祉保健活動拠点 なかふく 5人	中区ボランティアセンター運営委員会副委員長の選任について 令和2年度上半期善意銀行寄託金品の結果について(報告) 令和2年度上半期中区ボランティア関係事業について(報告)
令和3年 3月5日(金) ※提案日	令和3年度善意銀行配分計画(案)について 令和3年度中区ボランティアセンター事業計画(案)について 令和2年度下半期善意銀行寄託金品の結果について(報告) 令和2年度下半期中区ボランティア関係事業について(報告) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施

(イ) 中区社会福祉協議会助成金配分運営委員会

実施日/場所/人数	議 題
令和2年 7月8日(水) ※提案日	令和2年度なかふれあい助成金申請の配分審査 令和2年度中区社会福祉協議会助成金申請の配分審査 令和2年度高齢者福祉基金助成金申請の配分審査 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
令和3年 2月15日(月) ※提案日	令和2年度各種助成金配分経過報告について 令和3年度なかふれあい助成金について 中区高齢者福祉基金助成金について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
3月5日(金) ※提案日	令和3年度各種助成金の配分計画(案)について 令和2年度なかふれあい助成金配分団体の共同募金会への協力について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施

(ウ) 中区社会福祉協議会顕彰委員会

実施日/場所/人数	議 題
令和3年 1月21日(木) ※提案日	社会福祉功労顕彰候補者の審査 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施

(2) 6 団体事務の運営

(ア) 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部中区地区委員会

- ・ 総 会 1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
- ・ 会費実績 4,447,593 円

(イ) 中区安全安心推進協会

- ・ 総 会 1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
- ・ 賛助金実績 432,130 円

(ウ) 神奈川県共同募金会中区支会

- ・委員会 3回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
- ・募金実績 一般募金 7,641,182円
年末たすけあい募金 1,984,748円
- ・街頭募金 場 所 7カ所(JR関内・石川町駅、イオン本牧他)
参加者 4団体 延べ109人
募金額 207,778円

(エ) 中保護司会

- ・総会 1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
- ・理事会 2回

(オ) 中区更生保護女性会

- ・総会 1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
- ・理事会 9回

(カ) 中区遺族会

- ・総会 1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議にて実施
- ・理事会 0回

7. その他

(1) 善意銀行

① 善意銀行受入状況<金銭寄付>

No.	受領月日	寄託者名	金額(円)	分野
1	4月6日	株式会社クラステイタス	4,150	社会福祉
2	4月20日	匿名	3,000	その他
3	5月15日	徳永 福次	100,000	社会福祉
4	5月27日	匿名	100,000	社会福祉
5	7月16日	株式会社クラステイタス	10,000	社会福祉
6	7月30日	株式会社清光社	100,000	社会福祉
7	8月7日	株式会社クラステイタス	9,000	社会福祉
8	9月7日	株式会社クラステイタス	9,400	社会福祉
9	10月8日	株式会社クラステイタス	9,900	社会福祉
10	10月22日	葦の会	123,112	高齢者福祉
11	10月22日	葦の会	120,000	障害福祉
12	10月22日	匿名	10,000	高齢者福祉
13	10月22日	匿名	5,000	社会福祉
14	10月22日	匿名	10,000	障害福祉

15	11月9日	株式会社村内ファニチャーアクセス	200,000	社会福祉
16	11月12日	匿名	3,000	児童福祉
17	11月12日	株式会社クラステイタス	13,500	社会福祉
18	11月20日	横浜労働者福祉協議会 なぎさ支部	30,000	社会福祉
19	11月27日	松下 輝子	10,000	社会福祉
20	11月30日	匿名	3,000	社会福祉
21	12月11日	株式会社クラステイタス	10,000	社会福祉
22	12月25日	匿名	3,000	児童福祉
23	1月27日	徳永 福次	30,000	社会福祉
24	1月29日	株式会社横浜スタジアム	97,470	社会福祉
25	2月1日	セブンスデー・アドベンチスト横浜キリスト教会	43,902	社会福祉
26	2月18日	株式会社クラステイタス	9,000	社会福祉
27	3月8日	匿名	3,000	社会福祉
28	3月8日	匿名	3,000	社会福祉
29	3月18日	株式会社クラステイタス	8,200	社会福祉
30	3月22日	シオン	30,000	社会福祉
善意銀行 計 (30)			1,110,634	

②善意銀行受入状況<物品寄付>

No.	受領月日	寄託者名	寄託物品	分野
1	6月9日	三友会 ボランティアネットワーク21 神奈川	マスク 4,000 枚	社会福祉
2	12月25日	神奈川県商工会議所連合会	カレンダー	社会福祉
3	1月8日	匿名	カレンダー、手帳	社会福祉
4	1月8日	ENEOS不動産株式会社	カレンダー、手帳	社会福祉
5	3月2日	ENEOS不動産株式会社	童話の花束 100 冊	社会福祉
6	3月3日	ENEOS不動産株式会社	切手(2,499 円分)	社会福祉

③善意銀行払出金

	配 分 先	配分金額(円)	説 明
1	障害者団体連絡会助成	100,000	
2	ボランティア連絡会助成	100,000	
3	中区社協助成金配分事業	1,946,000	なかくふれあい助成金
合計		2,146,000	

(2) 賛助会員名簿

(敬称略・順不同)

個人会員				
蛭田 明子	中村 照幸	松澤 秀夫	徳永 福次	石川 直之
木下 千恵子	藤平 保之	佐藤 正孝	富田 公子	関根 政幸

団体会員		
生活支援 KBT	早川運輸株式会社	株式会社 クリーンアドバンス
株式会社日生建築計画研究所	横浜市内装事業協同組合	アサヒタクシー株式会社
ポピンズナーサリースクール馬車道	三丸興業株式会社	株式会社産業貿易センター
中区食生活等改善推進委員会	株式会社ハンケイ	一般社団法人日本シルバーサポート協会

(3) 助成金配分結果

令和2年度＜なかふれあい助成金＞配分結果 (配分先 63 団体 配分額 5,050,000 円)
要援護者支援区分

区分	団体名	申請事業内容	助成金額(円)
集いの場 活動	Art Lab Ova	対象を限定しないサロン	400,000
	新山下一丁目健康マージャンサロン	健康麻雀を通じたサロン	80,000
	つきしみの学校	学習支援	300,000
	日本コミュニティライフ協会	バーンゴルフを通じた高齢者サロン	180,000
	ふれあいサロンひとときの会	高齢者会食会	180,000
	横浜ラビット	体力づくりサポートを通じたサロン	180,000
	イキイキサロン	高齢者サロン	90,000
	第4南部地区健康づくり教室	高齢者サロン	120,000
	Do 冒険遊び場コロボックル	子育て支援活動	80,000
	「脳イキイキ教室」サポーターの会	高齢者サロン	90,000
	Pear Plant	女子中高生を対象としたサロン	120,000
	ふれあいサロン山元	高齢者サロン	90,000
	本牧元町南部ボランティア会	高齢者会食会	120,000
	満福うえのまち食堂	子ども食堂	120,000
	石川打越地区ふれあいサロン	高齢者サロン	80,000
	石川町2丁目町内会おたのしみサロン	高齢者サロン	50,000
	宇宙船(不登校から学ぶ会)	不登校・引きこもりに関する相談	80,000
	NPO 法人プロジェクトマカドニア	子育て支援活動	80,000
	火曜喫茶室	高齢者サロン	50,000
	交流スペースおもちゃ箱運営委員会	子育て支援活動	40,000
地域子育てサロンひだまり	子育て支援活動	80,000	
なかアート教室	高齢者サロン	80,000	
ふれあいサロンわすれな会	高齢者サロン・会食会	80,000	

	本牧地区健康体操教室	高齢者サロン	70,000
	みなとこども食堂運営委員会	子ども食堂	30,000
	むぎた JOY サロン	高齢者サロン	52,000
	おしゃべりば や・ま・と	認知症カフェ	50,000
	オレンジカフェけみく	認知症カフェ	50,000
	中区ともえ会	高齢者サロン	50,000
	フレンド	対象を限定しないサロン	50,000
	本牧三之谷茶話会	高齢者サロン	50,000
	特定非営利活動法人ライフコミュニティセンター	子ども食堂	50,000
家事・生活支援	ワーカーズコレクティブハートランド	電話相談事業	160,000
配食	石川壺おふくろ弁当	配食活動	160,000
送迎	特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会	送迎活動	350,000

障害児者支援区分

区分	団体名	申請事業内容	助成金額(円)
当事者活動・障害児者支援活動	障害者・高齢者ミニゴルフクラブ	余暇活動(スポーツ活動含む)	150,000
	NPO 法人チャレンジ新生	作業訓練・実習(中途障害者支援)	80,000
	のりたちくらぶ	余暇活動(スポーツ活動含む)	40,000
宿泊・日帰りハイック	地域活動支援センター はだしの邑	宿泊旅行(1泊2日)	50,000
障害者支援 視覚聴覚	KAMEの会	視覚障害者支援	50,000
	楽譜点訳グループダカーポ	視覚障害者支援	50,000
	点訳グループ「やしの実」	視覚障害者支援	50,000
	もなみ	視覚障害者支援	50,000
	横浜漢点字羽化の会	視覚障害者支援	50,000
	横浜市音声訳ボランティアグループ連絡会	視覚障害者支援	30,000

福祉のまちづくり区分

区分	団体名	申請事業内容	助成金額(円)
福祉のまちづくり区分	あひるの会	子育て当事者グループが行う事業	30,000
	アロマキャラバン	アロマボランティア	40,000
	互相学習会	日本語ボランティア	30,000
	ささやきバンド	慰問演奏	40,000
	里っこトト	子育て当事者グループが行う事業	18,000
	中区おもちゃのドクターネットワーク	おもちゃの修理	10,000
	なか区民クラブ	自然環境活動	30,000
	認定NPO法人あっちこっち	防災関連事業	40,000
	ビスケットの会	子育て当事者グループが行う事業	40,000
	本もく座	本読みボランティア	40,000
	山下公園健康づくり	自然環境活動	40,000
	横浜友の会中方面若芽の会	子育て支援事業	40,000

	特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター	障害児者・家族の交流会	40,000
	ぼんぽこりトミック	子育て当事者グループが行う事業	40,000
	アルファ・クラブ横浜会	胃がん患者の会	30,000
	みどり会	高齢者会食会	30,000

健康増進区分

区分	団体名	申請事業内容	助成金額(円)
健康増進	なつかしのサロン	高齢者健康増進活動	10,000
	本牧地区健康麻雀教室	高齢者健康増進活動	10,000

※一部団体に事業内容変更、返還金あり

令和2年度<中区社協助成金>配分結果 (配分先 12 団体 配分額 556,000 円)

備品購入・設備修繕

団体名	申請事業内容	助成金額(円)
NPO 法人地域生活センターグループホームえみな	空気清浄機購入	43,000
NPO 法人地域生活センターグループホームみどりがおか	洗濯機購入	50,000
NPO 法人地域生活センターグループホームやまゆり	衣類乾燥機購入	50,000
NPO 法人地域生活センターさくらの家	キッチン改修工事	50,000
NPO 法人地域生活センターハイツきさらぎ	空気清浄機購入	43,000
NPO 法人地域生活センターハイツ柚	炊飯器購入	50,000
NPO 法人地域生活センターふれあい生活の家	ファンヒーター購入	50,000
NPO 法人地域生活センター本牧生活の家	衣類乾燥機購入	50,000
NPO 法人はあとグループホームはあとっこはまゆう	ダイニングテーブルセット購入	50,000
NPO 法人地域生活センターかたつむりの家	トイレ改修工事	40,000
ろばの家	作業用エプロン購入	30,000
地域作業所えちご家	洗濯機購入	50,000

令和2年度<高齢者福祉基金助成金>配分結果 (配分先 14 団体 配分額 1,660,000 円)

高齢者支援活動区分

団体名	申請事業内容	助成金額(円)
第2地区ふれあいサロン	交流サロン	250,000
本牧元町南部ボランティア会	会食会(ふれあい給食)	250,000
石川打越地区スイーツ会	交流サロン	150,000
関内地区社会福祉協議会	交流サロン	150,000
ふれあいサロンひとときの会	食事会・自彊術	150,000
ふれあいサロン山元	交流サロン	100,000
ふれあいサロンわすれな会	交流サロン	150,000
石川打越地区ふれあいサロン	交流サロン	50,000
第三地区ふれあいサロン	交流サロン	50,000
中区ともえ会	交流サロン	20,000
本牧三之谷茶話会	交流サロン	40,000

地域イベント

団体名	申請事業内容	助成金額(円)
石川打越地区敬老観劇会	敬老観劇会	100,000
第6地区社会福祉協議会	ふれあいクリスマス会	100,000
第二地区連合町内会	もちつき大会	100,000

※一部団体に事業内容変更、返還金あり

(4) 社会福祉功労者顕彰受賞者一覧 (敬称略・順不同)

①【地区社会福祉協議会役員功労表彰】

野 口 瞳 (第1 北部地区社会福祉協議会)
 杉 野 芳 之 (第1 北部地区社会福祉協議会)

②【ボランティア活動功労表彰】

千 葉 治 子 (第1 北部地区社会福祉協議会)
 大 谷 勝 子 (第1 北部地区社会福祉協議会)
 石 渡 満里江 (第2 地区社会福祉協議会)
 高 畠 一 義 (第2 地区社会福祉協議会)
 阿 部 悦 子 (第3 地区社会福祉協議会)
 齊 藤 憲 明 (第3 地区社会福祉協議会)
 吉 川 由美子 (第3 地区社会福祉協議会)
 吉 田 紀美子 (第3 地区社会福祉協議会)
 小 泉 二三子 (第4 地区北部地区社会福祉協議会)
 佐 藤 博 之 (第4 地区北部地区社会福祉協議会)
 堀 井 元 子 (第4 地区北部地区社会福祉協議会)
 村 田 貴栄子 (第4 地区北部地区社会福祉協議会)
 他1名

③【中区社会福祉協議会善意銀行感謝】

株式会社 村内ファニチャーアクセス
 株式会社 清光社
 中区消費生活推進協議会
 徳 永 福 次
 葦の会

**令和 2 年度
社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会
収支決算書**

1	資金収支計算書	32
2	事業活動収支計算書	33
3	貸借対照表	34
4	財産目録	35
5	計算書類に対する注記	36

法人単位資金収支計算書

(自)令和2年04月01日 (至)令和3年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業：法人全体1 / 1
(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	3,170,000	2,970,090	199,910	
	寄附金収入	2,000,000	1,113,133	886,867	
	経常経費補助金収入	13,124,000	10,319,786	2,804,214	
	受託金収入	35,212,000	46,259,698	11,047,698	
	事業収入	596,000	235,410	360,590	
	負担金収入	1,282,000	1,181,741	100,259	
	受取利息配当金収入	23,000	14,559	8,441	
	その他の収入	600,000	737,354	137,354	
	事業活動収入計(1)	56,007,000	62,831,771	6,824,771	
支出	人件費支出	26,806,219	26,461,235	344,984	
	事業費支出	16,991,400	18,017,218	1,025,818	
	事務費支出	2,491,000	1,634,261	856,739	
	分担金支出	1,746,000	3,382,674	1,636,674	
	助成金支出	15,797,000	9,396,129	6,400,871	
	負担金支出	310,000	50,000	260,000	
	事業活動支出計(2)	64,141,619	58,941,517	5,200,102	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	8,134,619	3,890,254	12,024,873		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	0	312,400	312,400	
	施設整備等支出計(5)	0	312,400	312,400	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	312,400	312,400		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	5,000,000	1,805,000	3,195,000	
	その他の活動収入計(7)	5,000,000	1,805,000	3,195,000	
	支出				
	基金積立資産支出	24,000,000	0	24,000,000	
	積立資産支出	0	24,000,000	24,000,000	
その他の活動支出計(8)	24,000,000	24,000,000	0		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	19,000,000	22,195,000	3,195,000		
予備費支出(10)	15,199,873	-	15,199,873		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	42,334,492	18,617,146	23,717,346		
前期末支払資金残高(12)	42,334,492	42,334,492	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	23,717,346	23,717,346		

法人単位事業活動計算書

(自)令和2年04月01日 (至)令和3年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業：法人全体1 / 1
(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	2,970,090	2,956,600	13,490
	寄附金収益	1,113,133	2,202,654	1,089,521
	経常経費補助金収益	10,319,786	12,258,990	1,939,204
	受託金収益	46,259,698	29,384,808	16,874,890
	事業収益	235,410	513,180	277,770
	負担金収益	1,181,741	1,250,422	68,681
	サービス活動収益計(1)	62,079,858	48,566,654	13,513,204
	費用			
	人件費	26,461,235	22,083,450	4,377,785
事業費	18,017,218	13,821,460	4,195,758	
事務費	1,634,261	2,541,463	907,202	
分担金費用	3,382,674	2,390,593	992,081	
助成金費用	9,396,129	11,303,284	1,907,155	
負担金費用	50,000	1,485,298	1,435,298	
減価償却費	430,951	429,650	1,301	
国庫補助金等特別積立金取崩額	296,666	296,666	0	
サービス活動費用計(2)	59,075,802	53,758,532	5,317,270	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	3,004,056	5,191,878	8,195,934	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	14,559	48,641	34,082
	その他のサービス活動外収益	737,354	1,031,298	293,944
	サービス活動外収益計(4)	751,913	1,079,939	328,026
	費用			
その他のサービス活動外費用	0	160,000	160,000	
サービス活動外費用計(5)	0	160,000	160,000	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	751,913	919,939	168,026	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	3,755,969	4,271,939	8,027,908	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	5	0	5
	その他の特別損失	9,910	0	9,910
特別費用計(9)	9,915	0	9,915	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	9,915	0	9,915	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,746,054	4,271,939	8,017,993	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	42,608,262	34,180,201	8,428,061
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	46,354,316	29,908,262	16,446,054
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	1,805,000	35,700,000	33,895,000
	その他の積立金積立額(17)	24,000,000	23,000,000	1,000,000
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	24,159,316	42,608,262	18,448,946

法人単位貸借対照表

令和3年03月31日現在

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
 事業：法人全体

1 / 1
 (単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	30,454,137	48,573,183	18,119,046	流動負債	6,736,791	6,238,691	498,100
現金預金	29,334,460	45,862,292	16,527,832	事業未払金	5,236,158	5,177,083	59,075
事業未収金	13,120	39,236	26,116	その他の未払金	1,200,633	987,608	213,025
未収金	1,080,059	1,709,467	629,408	未払費用	0	74,000	74,000
未収補助金	0	295,235	295,235	預り金	300,000	0	300,000
未収収益	0	399,000	399,000	負債の部合計	6,736,791	6,238,691	498,100
前払費用	26,498	263,690	237,192	純資産の部			
仮払金	0	0	0	基本金	3,000,000	3,000,000	0
その他の流動資産	0	4,263	4,263	国庫補助金等特別積立金	271,948	568,614	296,666
固定資産	97,810,918	75,744,384	22,066,534	その他の積立金	94,097,000	71,902,000	22,195,000
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	福祉基金積立金	47,602,000	23,602,000	24,000,000
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	高齢者福祉基金積立金	46,495,000	48,300,000	1,805,000
その他の固定資産	94,810,918	72,744,384	22,066,534	次期繰越活動増減差額	24,159,316	42,608,262	18,448,946
車輛運搬具	393,850	823,501	429,651	(うち当期活動増減差額)	3,746,054	4,271,939	8,017,993
器具及び備品	311,108	13	311,095				
福祉基金積立資産	47,602,000	23,602,000	24,000,000	純資産の部合計	121,528,264	118,078,876	3,449,388
高齢者福祉基金積立資産	46,495,000	48,300,000	1,805,000	負債及び純資産の部合計	128,265,055	124,317,567	3,947,488
その他の固定資産	8,960	18,870	9,910				
資産の部合計	128,265,055	124,317,567	3,947,488				

財産目録
令和3年03月31日現在

別紙4

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 1
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
資産の部						
1 流動資産						
現金預金	横浜銀行県庁支店・ゆうちょ銀行	-	運転資金として	-	-	29,334,460
事業未収金		-	あんしんセンター利用料	-	-	13,120
未収金		-	経理区分間繰入繰出等	-	-	1,080,059
未収補助金		-		-	-	0
未収収益		-		-	-	0
前払費用		-	保険料等	-	-	26,498
仮払金		-		-	-	0
その他の流動資産		-		-	-	0
流動資産合計						30,454,137
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金	横浜銀行県庁支店	-		-	-	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具	送迎車両(共募日産パネット)	-	外出支援サービス等に使用	2,577,904	2,184,054	393,850
器具及び備品	事務所用看板 他	-	ご利用者・事務局用	3,462,120	3,151,012	311,108
福祉基金積立資産	野村証券・横浜銀行県庁支店	-		-	-	47,602,000
高齢者福祉基金積立資産		-		-	-	46,495,000
その他の固定資産	リサイクル料	-		-	-	8,960
その他の固定資産合計						94,810,918
固定資産合計						97,810,918
資産合計						128,265,055
負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	職員雇用費等	-		-	-	5,236,158
その他の未払金	サービス区分間繰入繰出等	-		-	-	1,200,633
未払費用		-		-	-	0
預り金		-		-	-	300,000
流動負債合計						6,736,791
固定負債合計						0
負債合計						6,736,791
差引純資産						121,528,264

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「取得年度」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券等一償却原価法(定額法)による。

② 上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)一一定額法による減価償却の方法

② 無形固定資産(リース資産を除く)一残存価格を0円とした定額法による減価償却を実施している。

③ リース資産

・ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格0円とする定額法による。

(3) 消費税等の会計処理

当法人は、消費税等の会計処理として、税込方式による。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

該当なし

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福祉事業のみであるため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、拠点区分が一つのため作成していない。

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 法人運営及び区社協実施事業拠点区分計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(7) 拠点区分資金収支明細書(別紙3⑩)

(8) 拠点区分事業活動明細書(別紙3⑪)

(9) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人運営及び区社協実施事業拠点(社会福祉事業)

法人運営

ボランティアセンター事業

地区社協活動支援事業

福祉保健活動拠点運営

共同募金配分事業

善意銀行運営

送迎サービス事業

自立生活等支援事業

権利擁護事業

移動情報センター事業

福祉活動推進事業

中区社協助成金配分事業

福祉基金

高齢者福祉基金

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

7. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産
該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	2,577,904	2,184,054	393,850
器具及び備品	3,462,120	3,151,012	311,108

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第243回神奈川県債10年債	23,000,000	22,861,379	△138,621

12. 関連当事者との取引の内容
該当なし

13. 重要な偶発債務
該当なし

14. 重要な後発事象
該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

監査報告書

令和3年6月1日

社会福祉法人
横浜市中区社会福祉協議会
会長 松澤 秀夫 様

監事 伊藤 正

監事 伊藤 紀子

監事 山本 千穂

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上